令和８年度　第２回東郷町地域ケア推進会議

日時	令和８年８月 20 日(木)　午後２時から午後３時まで
場所	東郷町役場２階　大会議室
出席者	委員　※敬称略、順不同 制野　司　　有識者（学校法人柳城学院） 横井　昭博　　歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部） 佐藤　裕美　　薬剤師（東郷町薬剤師会） 森本　美香　　くらし健康部　成人保健推進室 磯村　達己　　東郷町社会福祉協議会 早川　孝志　　東郷町北部地域包括支援センター 服部　景樹　　東郷町南部地域包括支援センター東郷苑 村井　良則　　有識者（東名古屋医師会医療介護総合研究センターやまびこ） 池田　寛　　有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし） 半田　清春　　東郷町民生委員児童委員連絡協議会 岡田　伸一　　施設サービス関係（愛厚ホーム東郷苑） 朝倉　隆行　　居宅サービス関係（メドック東郷） 松山　陽二　　居宅介護支援事業所（もみの木） 小島　通範　　住民代表（第１号被保険者） 海老原　由美　　住民代表（第２号被保険者）
欠席者	松浦　誠司　　医師(東名古屋東郷町医師会) 福島　美佐子　　訪問看護師（東郷町訪問看護ステーション連絡協議会） 柳　ゆかり　　理学療法士（東郷町リハビリテーション連絡協議会） 古橋　完美　　瀬戸保健所　健康支援課 近藤　俊樹　　東郷町民生委員児童委員連絡協議会
傍聴者	０名
事務局	福祉こども部長 高齢者支援課課長（進行） 高齢者支援課の職員　４名
議題	１　あいさつ ２　議題 （１）第９期東郷町高齢者福祉計画　現行計画の取組の振り返り【資料２】 （２）第 10 期東郷町高齢者福祉計画骨子案について【資料１】 ３　その他 第 10 期東郷町高齢者福祉計画の概要と策定スケジュール（案）について【資料３】
配布資料	会議次第 委員出欠簿 配席表 資料１　第 10 期東郷町高齢者福祉計画（骨子案） 資料２　第９期東郷町高齢者福祉計画　現行計画の取組の振り返り（概要）

	資料３　第 10 期東郷町高齢者福祉計画　策定スケジュール（R8.8.10 現在） 参考資料　基本目標ごとの現状の課題と今後の方向性

１　あいさつ

２　報告事項

（１）第９期東郷町高齢者福祉計画　現行計画の取組の振り返り

事務局	資料説明。資料２
委員長	ただいまの説明について、何か質問、意見はあるか。
委員	13 ページの指標目標の「認知症初期集中支援チームの支援人数」が令和７年度は０人となっているが、これはすでに医療機関につながっているというケースが多いからなのか。それとも認知症初期集中支援チームがいろいろなところに連絡とる必要があるのでハードルが高いからか。もしくは、ケースが少ないだけなのか。そのあたりを教えていただきたい。
事務局	委託している東郷町南部地域包括支援センター東郷苑から説明をお願いする。
委員	認知症初期集中支援チームに関して、令和７年度も実際には対象者が２人いた。どちらとも初回訪問や継続訪問をしていたが、１人は途中で治療が必要な疾患が出て、入院、手術という経過を経て、施設に入所された。もう１人も初回訪問当日に発熱されており、そのまま入院となった。入院することによって、医療機関とのつながりができ、成年後見制度や介護保険などの利用にもつながった。 対象者が少ないのかという話があったが、医療機関にかかっていない方に関しては、まずは包括支援センターが関わることが多く、包括支援センターとの関わりの中でハードルを越えていける方もいるので、対象者が多くないのが現状だと思う。
委員長	令和８年度目標数値をすでに越えている部分もあり、それはいいことだと思う。 ほかになければ次に進めさせていただく。また何かあれば、後ほど、まとめてご意見いただければと思う。 続いて、「（２）第 10 期東郷町高齢者福祉計画骨子案について」ついて、事務局より説明をお願いする。

（２）第 10 期東郷町高齢者福祉計画骨子案について

事務局	資料説明。資料１
委員長	ただいまの説明について、何か質問、意見はあるか。まだ大きく何かを変えるという段階ではないので、追加したほうがいいものがあればお願いする。
委員	「（２）施策の体系」の「第 10 期　(案)」のほうの基本目標２「高齢者の生活を支える環境の充実＜生活支援＞」の中に「（４）高齢者の権利擁護の推進」とあるが、最近、認知症の方への虐待が問題になっているので、認知症の方の権利擁護についてはないのか。
事務局	第９期では認知症の方ついては「高齢者」の中に含めていたが、第 10 期で認

	知症の方を明記していくかは検討する。
委員	基本目標５「地域包括ケアを支える体制の強化＜支援体制＞」の中に「専門職の人材育成と介護人材の確保及び生産性の向上」とあるが「生産性の向上」とはどういうことを指しているのか教えていただきたい。
事務局	ＤＸ化などにより効率化していくことになる。
事務局	これが直接結びつくかは分からないが、介護認定の電子化をおこなうか検討中である。あとは介護事業所内の電子化ついては県や国から補助が出ているので、それの活用を検討している。
委員長	事業所のほうでＤＸ化まではいかなくとも、何か進めていることはあるか。
委員	施設の中では人材不足、高齢化が進んでいるので、負担軽減のために介護リフトを導入したりしている。ほかにも施設内にはいろいろな部署があるので、情報共有のツールなどを導入して、日常業務の軽減は順次進めている。
委員長	先ほどの権利擁護の話について、成年後見のことも含まれるかと思うが、現状、東郷町内で成年後見は不足しているのか。近隣市町では、毎日のように司法書士のところに成年後見の話が来ており、不足感が大きいという話を聞いた。
事務局	成年後見制度について、昨年度は法律で認められた申立できる人がいない場合におこなう町長申立という形で２件の申立をおこなった。家族がいる方は尾張東部権利擁護センターへつないだり、毎月第３木曜日に尾張東部権利擁護センター方に出張していただき相談窓口を設けて、事業をおこなったりしている。役場に相談に来られなくても、尾張東部権利擁護センターのほうに直接、行かれる方もいる。増えているというよりは、現状維持という感覚である。
委員	豊明東郷医療介護サポートセンターかけはしでおこなった医療機関や包括支援センターや事業者などとの検討会で、身寄りのない方で、明らかに支援が必要で、しないことで関係機関には多大なる迷惑がかかるという状況でも、本人が支援望まず、それが負担になっているという話があった。すぐに解決できるものがなく、啓蒙活動をやっていくしかないが、そもそもそういった啓蒙活動に理解を示し、反応される方はそういう状況に陥らないので、支援が必要なのに望まない方に対して、どのように周知していくかが今後課題になるかと思う。
委員長	ほかにないようなので、骨子案について了承を得たいと思う。 骨子については、概ねこれでよろしいか。
委員一同	異議なし
委員長	異議がないようなので、引き続き、事務局には計画策定を進めていただきたいと思う。 それでは「２　その他」の「第 10 期東郷町高齢者福祉計画の概要と策定スケジュール（案）について」ついて、事務局より説明をお願いする。

３　その他

第 10 期東郷町高齢者福祉計画の概要と策定スケジュール（案）について

事務局	資料説明。資料３
委員長	改めて、全体を通して、意見等あれば、お願いする。

	ほかにないようなら、本日の議題は終了となるので、進行を事務局にお返しする。
事務局	委員長、円滑な進行、感謝申し上げる。委員の皆様からいただいた質問、意見を取りまとめて反映したものを次回の 10 月の地域ケア推進会議で計画素案としてお示しする。 続いて、事務連絡をさせていただく。 次回の地域ケア推進会議は、10 月 15 日(木)午後２時から、会場は同じ東郷町役場２階大会議室を予定している。改めて開催の案内をお送りするので、よろしくお願いする。 以上で、令和８年度第２回東郷町地域ケア推進会議を終了とする。長時間にわたり、ご審議感謝する。

以上